

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ⑤ えひめ農業の安全・安心を確保します

具体的な推進事項 1 農薬、化学肥料等を低減した農業や有機農業など環境にやさしい農業の拡大に努めます

○エコファーマー、エコえひめ、有機農業の推進

【取組】

- ・エコファーマーの認定やエコえひめ農産物の認証、有機農業の取組支援のため、技術実証ほの設置に加え、県内4カ所において、有機農業に関する講座や研修会を開催

【成果】

- ・エコファーマー認定者数：1,261名〔R5年比：571名 増〕
- ・エコえひめ農産物（出荷認証ベース）認証件数：169件〔R5：183件、R4：183件〕
- ・有機農業講座参加者数：151名

【関係事業】

- ・みどりの食料システム戦略推進事業費：25,875千円



愛媛県有機農業セミナー



県外でのエコえひめ農産物販売促進活動



固液分離の導入



肥料製造施設の見学



先進地視察（北九州市）



有機肥料普及推進シンポジウム

○家畜排せつ物の有効利用促進

【取組】

- ① 家畜排せつ物の有効利用を図るため、良質たい肥の生産技術指導を実施
- ② 国補助事業や県単補助事業（畜産新技術等導入支援事業）による、家畜排せつ物処理に係る機械導入や既存施設の補改修を推進

【成果】

- ① 技術指導打合せ会の開催：1回〔R5：1回、R4：1回〕
- ② ・機械等の導入（たい肥調整関係機械装置等）：3件〔R5：4件、R4：1件〕
- ・既存施設の補改修（たい肥舎の補改修等）：3件〔R5：3件、R4：3件〕

【関係事業】

- ・畜産経営技術指導事業費：3,647千円
- ・畜産新技術等導入支援事業費：21,644千円

○未利用資源を活用した有機肥料の開発・利用促進

【取組】

- ① ・未利用資源を活用した有機肥料の開発・利用促進を図るため、関係機関による協議会を開催（5月、3月）
- ・肥料製造事業者等と、先進地視察を実施（北九州市 等）
- ② 有機肥料の理解、普及を推進するため、シンポジウムを開催
- ③ 地域の未利用資源を活用した、オリジナルの有機肥料の試作を実施

【成果】

- ① ・当地域オリジナルの有機肥料の開発、導入について協議
- ・先進地視察等を通じて、導入についてのボトルネック等を協議会員に情報共有し、課題を共通認識
- ② ・東京大学大学院の特任准教授を招き、有機肥料の特性や導入事例等について情報共有
- ・シンポジウム参加者数：110人
- ③ 鶏糞の混練割合を変え、3種類試作

【関係事業】

- ・未利用資源を活用した有機肥料の開発利用促進事業費：1,098千円

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ⑤ えひめ農業の安全・安心を確保します

具体的な推進事項 2 えひめ農畜産物をグローバルスタンダードに高めます

OGAP指導活動の推進

1 現地指導の実施

【取組】

- ・グローバルGAP等の各種認証の取得、更新を指導
- ・国際水準GAPの実施に係る現地指導の実施
- ・国際水準GAPに関する研修会等を開催

【成果】

- ・15件の農業者等に対して、計33回の指導活動を実施
- ・国際水準GAPに関する研修会、勉強会等を開催：4回

【関係事業】

- ・みどりの食料システム戦略推進事業費：25,875千円

2 GAP指導員の育成

【取組】

- ・GAP指導員の育成に資する研修に普及指導員を派遣
- ・グローバルGAP内部検査（模擬審査）の実施による指導力強化

【成果】

- ・国際水準GAPガイドライン研修に派遣：9人
- ・新たにGAP指導員を育成：9人
- ・各地方局、支局でグローバルGAP内部検査を実施：9件

【関係事業】

- ・みどりの食料システム戦略推進事業費：25,875千円



GAP指導活動



GAPに関する勉強会



グローバルGAP内部検査



教育機関における
グローバルGAP公開審査

OGAP教育の推進

【取組】

- ・教育機関の各種GAP認証の維持・更新を支援し、GAPの取組を通じて、生徒が自ら考えて実践する能力の向上を図り、次世代の愛媛の農業を担う人材を育成

【成果】

- ・グローバルGAP認証を更新：6校
- ・県GAP認証を継続取得：5校

【関係事業】

- ・みどりの食料システム戦略推進事業費：25,875千円

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ⑤ えひめ農業の安全・安心を確保します

具体的な推進事項 3 食の安全・安心に関する取組みを充実します

○農薬適正使用の啓発・残留農薬分析の実施

【取組】

- ・農薬による危害の防止啓発や県産農産物の安全性確保のため、農薬適正使用講習会の開催、農薬管理指導士の認定及び農薬残留分析を実施

【成果】

- ・農薬適正使用講習会：204名参加
- ・農薬管理指導士：181名（新規3名認定、46名更新）※R7年3月末時点
- ・農産物の農薬残留分析件数：298件、農薬適正使用を確認

【関係事業】

- ・農薬適正使用推進事業：5,310千円



農薬適正使用講習会

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ⑤ えひめ農業の安全・安心を確保します

具体的な推進事項 3 食の安全・安心に関する取組みを充実します

○食品表示の適正化及び食品トレーサビリティの推進

【取組】

- ・「食品表示相談窓口」を設置
- ・食品関連事業者向けに講習会を開催
- ・消費者の目線で食品の表示を点検する「食品表示ウォッチャー」によるモニタリング活動の実施
- ・疑義情報等に基づく食品表示の監視・指導

【成果】

- ・食品表示相談対応件数：300件〔R5：362件、R4：280件〕
- ・適正な食品表示推進講習会参加者：事業者等：88名
- ・食品表示ウォッチャー報告に基づく調査件数：159件
〔R5：144件、R4：185件〕
- ・不適正表示に係る指示・公表：0件、文書指導：1件

【関係事業】

- ・食品表示適正化推進事業：2,158千円



適正な食品表示推進講習会

○安全・安心な畜産物生産への取組推進

【取組】

- ・動物用医薬品や飼料等の安全な流通や適正な使用を確保するため、販売業者や農家等への立入検査等を実施

【成果】

- ・立入検査件数 動物用医薬品：101件〔R5：134件、R4：146件〕
飼料：348件〔R5：362件、R4：397件〕

【関係事業】

- ・乳牛等総合改良対策事業費：2,028千円
- ・家畜防疫総合対策事業費：96,824千円



飼料販売業者立入検査

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ⑤ えひめ農業の安全・安心を確保します

具体的な推進事項 4 動植物防疫措置の強化に取り組みます

○家畜防疫体制の強化

【取組】

- ① 家畜伝染病を引き起こす病原体の県内への侵入を防ぐため、松山空港国内線での靴底消毒による水際対策を実施
- ② 昨年度の高病原性鳥インフルエンザ発生時の防疫措置に関する課題等を踏まえ、家畜防疫危機管理体制の強化を図るため、備蓄資材の拡充とともに、防疫会議や防疫研修会等を開催
- ③ 豚熱の発生予防を図るため、飼養される豚・イノシシに対し、予防的ワクチン接種を実施
- ④ 南予地区の家畜防疫力強化に向けて、西予市に新庁舎を建設

【成果】

- ① 靴底消毒実施期間：R6年4月1日～R7年3月31日
- ② 防疫研修会等の開催：県庁、各地方局で1回以上開催
- ③ 豚熱ワクチン接種農家：93戸〔R5：91戸〕
- ④ R7年4月開所

【関係事業】

- ・家畜防疫総合対策事業費：96,824千円
- ・南予家畜保健衛生所整備事業費：533,296千円



豚熱ワクチン接種



防疫研修会
の様子

